

岩手郡医報

高橋 孝先生 書



アヤメ/高橋 孝先生 画

岩手郡医師会
No79/2004年8月

表紙のことば

学名はよく解らないが“アヤメ”を水彩で描いてみました。切画の原画にもと考えたが細密画となり絵画としては少し疑問にも思っております。

零石町 高橋 孝

巻頭言

「世代を超えた御支援を願う」



平成16年2月7日

に行なわれた通常総会

において岩手郡医師会会長に選任され、4月1日から会長職に就任しております。また、新執行部体制のもと、4月24日の通常総会において、平成15年度の決算ならびに平成16年度の事業計画および予算などが承認されました。

すでに、新執行部体制になり約3カ月を経過し、事務局の移転および新しい体制への立ち上げなど、課題が山積する中で、着実に活動がなされつつあります。

さて、高橋牧之介前会長の在任期間中に、岩手郡医師会会員数は107名と大きく飛躍し、同時に医師会活動も活性化し、岩手県内でも有力な都市医師会の一つとして位置づけられるようになりました。

また、高橋前会長はこの岩手郡医師会に厳しさの中にも和やかな楽しい雰囲気を構築することにご尽力されました。そのなごやかな雰囲気は、我々岩手郡医師会の貴重な財産であり、それを大切に継承することが会長としての私の務めと考えております。

そのような岩手郡医師会にあって、当面する最大の課題は市町村の合併問題でありましょう。合併問題により岩手郡医師会に

岩手郡医師会 会長
及川 忠人

対しても様々な課題が出て来ると思われますが、これまで培つて来た融和と協力を主体とし、各地域の医師会員の立場を尊重しつつ、地域医療の充実に全力を傾注したいと考えております。

幕末の時代には日本の歴史を動かした多くの人物が輩出されました。その精神的支柱であった昌平坂学問所の佐藤一斎先生は言志晩録の中で、

「少にして学べば、即ち壯にして為す事あり。
壯にして学べば、即ち老いて衰えず。
老いて学べば、即ち死して朽ちず。」

すなわち、生涯学び続けることの大切さと、世代を超えた連帶の大切さを述べております。この言葉を心に留め職務に専念する所存です。

末筆になりましたが岩手郡医師会会員の諸先生方からの、さらなるご指導ご鞭撻とご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げまして、新しいスタートを歩みだした岩手郡医師会会報の巻頭言に替えたいと存じます。



目 次

巻 頭 言 岩手郡医師会会长 及川忠人 1

通常総会議事録

平成15年度岩手郡医師会通常総会議事録 副会長 高橋 孝 2

平成16年度岩手郡医師会通常総会議事録 総務担当理事 久保谷 康夫 2

理事会議事録

平成16年度第1回岩手郡医師会理事会議事録 会長 及川忠人 4

平成16年度第2回岩手郡医師会理事会議事録 会長 及川忠人 5

総務会報告

平成16年度第1回岩手郡医師会総務会 総務担当理事 篠村達雅 7

岩手県医師会生涯教育委員会報告

岩手県医師会生涯教育委員会 ... 岩手県医師会生涯教育委員 高橋 孝 7

岩手郡医師会役員選出委員会報告

岩手郡医師会役員選出委員会

..... 岩手郡医師会役員選出委員会委員長 高橋 孝 8

お知らせ

第38回岩手県医師会親睦ゴルフ大会のお知らせ

..... 総務担当理事 久保谷 康夫 ... 9

第55回岩手県医師会親睦野球大会に参加して 一三陸野球遠征記一

..... 岩手郡医師会野球チームヘッドコーチ 三善悟 10

同上現主将 鳴信

同上現監督 久保谷 康夫

通常総会議事録

平成15年度 通常総会議事録

副会長 高橋 孝

平成16年2月7日、午後4時から岩手県医師会館で開催された岩手郡医師会総会において、理事候補・監事候補を掲示し、定款13条により、理事・監事の討議を行い、全員賛成のもとに理事候補・監事候補が選任された。

理事の選任に引き続き、定款13条2により、理事の互選による会長、副会長の選出を行った。その結果、岩手郡医師会会长に及川忠人、副会長に高橋孝、西島康之が選任された。

平成16年度 通常総会議事録

総務担当理事 久保谷 康夫

日時：平成16年4月24日(土)午後3時半～6時
場所：ホテルニューカリーナ

出席者の確認：委任状を含め72名の参加であった。定数を満たしたため会の開催を宣言した。

議長選出：議長に高橋孝副会長を選出した。

会長挨拶：及川忠人会長より挨拶があった。

[議事]

第1号議案：平成15年度岩手郡医師会一般会計決算について議決した。

第2号議案：平成15年度岩手郡医師会休

祭日当番医決算について議決した。

第3号議案：平成15年度岩手郡医師会特別会計決算について議決した。

第4号議案：平成16年度岩手郡医師会事業計画について議決した。

1) 役割分担及び担当部会別活動計画について議決した。

2) 医師連盟活動について承認した。

第5号議案：平成16年度岩手郡医師会一般会計歳入歳出予算について可決された。

第6号議案：平成16年度岩手郡医師会休祭日当番医歳入歳出予算について可決された。

第7号議案：岩手郡医師会定款の一部改正について可決された。

第8号議案：その他
以上で議事を終了した。



特別講演

演題：「健康理念の変容と地域医療」

講師：(社)日本WHO協会 常務理事

奥山文朗先生

特別講演

「健康理念の変容と地域医療の役割」



(社)日本WHO協会 常務理事
奥山文朗

私の本職は、都市プランナーとして健康まちづくりをライフワークとしています。1980年より京都に本部のありますNGOにてWHO運動に参加するようになりました。この会に導かれたのは、『日本老残』の著者や「ウェルエージング」を造語された老年学の医学者・吉田壽三郎先生によってです。先生の推薦で1982年にはウィーンでの「世界エージング会議」に出席し、超高齢化社会を乗り切るには、〈世代間の共存〉が不可欠と学びました。

さて、1946年のWHO憲章では、健康の定義を「身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態」とし、1986年のオタワ宣言では「ヘルス・プロモーション」を掲げました。健観は、大きな流れとして「非病説」（健康とは病気でないこと）→「生活説」（健康は生活の質を高める資源）→「社会説」（健康は個人だけでなくコミュニティの支援が必要）が概観できます。健康も広義には、幸福や福祉、自立や適応の概念と近似します。

WHOのヨーロッパ地域事務局を中心に1980年代半ばから「健康都市運動」が推進されています。それはコミュニティを中心に健康を支援する環境づくりを進めるものです。

健康をホリスティックにとらえ、住居・環境・教育・福祉・医療の連携向上、健康政策の優先化、市民の運動参加、成果主義で実践

目標を共有するなどを特徴としています。私は〈居心地の良い空間〉〈安全・安心な住空間〉づくりを実践しています。

ところで地域医療といえば、病診連携や福祉との融合が課題とされます。それも大事だが、人口5千～3万人くらいの小・中学校区において〈ヘルスケア・コミュニティ〉を実現することが不可欠と考えます。医療も治療から予防、さらに健康増進へと、住民のニーズは変わってきていると思われます。病院はもとより診療所にも、カルテ開示はもとより説明責任が求められ、第三者評価さえ必須と考えます。地域ごとに「健康寿命の延伸」と「生活習慣病の減少」が大切な目標となります。

究極の医療サービスは、「医師から住民への健康情報の提供」であり、「マイカルテ」のデータベース化を図り、「健康の自己管理システム」を整備し、医師会ごとに「健康プラットホーム」を構築しては、いかがでしょうか。要は「生活（ライフスタイル）改善プログラム」を住民（患者）に提供する社会システムづくりが求められます。EBH（根拠に基づくヘルスケア）による個々人に合わせた「テーラーメード健康支援システム」を築くことです。

岩手郡医師会から新たな「健康運動」が始まることに、ご期待申し上げます。

平成16年度岩手郡医師会理事職務分掌

会長	及川 忠人	医療保険・労災	佐々木久夫・久保谷康夫
副会長	高橋 孝	産業医	三善 悟・西島 康之
副会長	西島 康之	学校医	上原 充郎・佐々木久夫
総務	篠村 達雅・柄内 秀彦 久保谷康夫	健康教育	飯島 仁・高橋 孝
地域医療	篠村 達雅・久保谷康夫 紺野 敏昭	生涯教育	高橋 孝
広報	柄内 秀彦・紺野 敏昭 成島勝之助	有床診療所	西島 康之
勤務医	岡田 行生・三善 悟	医師連盟	篠村 達雅・西島 康之 高橋 孝

理事会議事録

平成16年度 第1回理事会議事録

会長 及川 忠人

日 時：平成16年4月16日(金) 午後6時

場 所：ホテルメトロポリタンNew Wing

出席者：及川忠人会長、高橋孝副会長、

西島康之副会長、飯島仁、岡田行生、
上原充郎、久保谷康夫、紺野敏昭、
佐々木久夫、篠村達雅、柄内秀彦、
成島勝之助、三善悟、各理事。

【会長挨拶】

及川忠人会長より挨拶があった。

【報告事項】（及川会長）

1. 第1回都市医師会長協議会報告

平成16年4月3日に県医師会館で行われた都市医師会長協議会について報告した。

2. 岩手県医師連盟執行委員会報告

平成16年4月3日に県医師会館で行われた医師連盟執行委員会について報告した。

【協議事項】

1. 平成15年度岩手郡医師会決算について

1) 平成15年度一般会計決算書(案)

2) 平成15年度休祭日当番医決算書(案)

- 3) 平成15年度特別会計決算書(案)
を承認した。
2. 平成15年度岩手郡医師会決算の監
事会について
監査報告書を承認した。
3. 平成16年度岩手郡医師会事業計画
1) 事業計画(案)
2) 各部門別事業計画(案)
3) 各部門別担当理事の決定(案)
を承認した。
4. 平成16年度予算について
1) 平成16年度一般会計決算書(案)
2) 平成16年度休祭日当番医決算書(案)
を協議した。
5. 岩手郡医師会定款の一部変更につい
て承認した。
6. 平成16年度通常総会に向けての準
備を承認した。
7. 前会長高橋牧之介先生の顧問推薦に
ついて全員一致で承認した。
- 以上で議事を終了した。

平成16年度 第2回理事会議事録

会長 及川 忠人

日 時：平成16年6月8日(火)

午後6時半～8時半

場 所：ホテルメトロポリタンNew Wing

出席者：及川忠人会長、高橋孝副会長、
西島康之副会長、飯島仁、岡田行生、
上原充郎、久保谷康夫、紺野敏昭、
佐々木久夫、篠村達雅、柄内秀彦、

成島勝之助、三善悟、各理事。

【会長挨拶】

及川忠人会長より挨拶があつた。

【報告事項】(及川会長)

1. 岩手郡医師会への入会および退会について
16年4月から6月の新入会員無し。退会会員2名。会員数106名。
2. 各町村との予防接種に係わる契約履行状況について
岩手町、安代町、松尾村、葛巻町が未だ。
3. 感染症についての終息状況(WHO)について
SARS終息がWHOから通達された。
4. 岩手郡医師会事務局の体制整備状況について
岩手郡医師会会計処理規定の作成などが承認された。
5. 岩手県北周産期研究会(7月3日)
後援申請および支援金について
後援予定とした。
6. 平成16年度第1回都市医師会長懇談会(6月5日)について

【協議事項】

1. 救急出動時の医療機関への連絡方法の変更に伴う施行(7月1日より)について(及川会長)
直接救急隊員が医療機関に携帯電話で連絡する体制を2カ月間試行する。

盛岡地区メディカルコントロール委員推薦に関しては、篠村達雅理事に依頼することとした。

救急医療関係研修会等の開催準備に関しては、篠村達雅理事に依頼することとした。

2. 広報委員会報告(5月15日)および今後の活動計画について(柄内理事)

柄内秀彦理事より、岩手県医師会広報委員会への出席報告があった。

岩手郡医師会会報発行の打ち合わせを2回開催したことが報告され、本年度は3回の会報発行を予定していることが承認された。

なお、会報等発行委員は、担当理事として、柄内秀彦、紺野敏昭、成島勝之助の理事。編集委員長に成島勝之助を、編集委員に山口淑子、植田修、秋濱朋子を、そしてアドバイザーに久保谷康夫理事を委嘱することが承認された。

3. 岩手県医師会春季総会参加について(6月27日：一関市)(及川会長)

10名の参加が予定されている。

4. 医師協同組合体育補助事業申請について(8月7日：交流野球大会)(及川会長)

岩手郡医師会と岩手郡歯科医師会との懇親野球試合を岩手県営野球場において開催することが承認された。

5. 岩手県医師会親睦野球大会について(8月22日：水沢市営球場)(及川会長)

バスの発着場を高橋前会長宅に依

頼することとした。

6. 岩手県医師会親睦ゴルフ大会について(9月26日：沼宮内C.C.)(久保谷理事)

大会の趣旨は、親睦と競争とし、岩手県医師会第149回代議員会において広報することが承認された。

7. 岩手郡医師会ホームページ立ち上げ(6月8日)と課題について(及川会長)

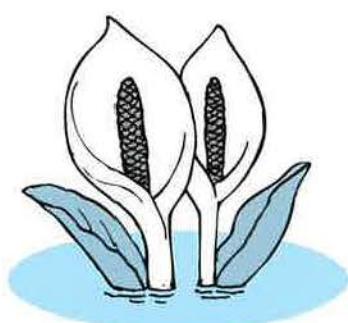
一般市民からのアクセスが出来るシステムの構築を検討することが承認された。

8. 岩手県医師連盟について(篠村理事)

第3回日本医師連盟若手会員研修会(6月6日：東京)に関する報告がなされ次回参議院選挙において、100万票を目標としていることが報告された。

また、岩手県医師連盟執行委員会(6月5日)に関して、医師連盟活動(7月3日総決起大会等)について、さらに西島英利氏後援会入会状況について報告がありそれについて承認された。

以上で議事を終了した。



総務会報告

第1回総務会

総務担当理事 篠 村 達 雅

日 時：平成16年4月6日(火) 午後7時

場 所：ホテルニューカリーナ

出席者：及川忠人会長、高橋孝副会長、西島康之副会長、久保谷康夫、篠村達雅、柄内秀彦各理事。

岩手県医師会生涯教育委員会報告



岩手県医師会生涯教育委員 岩手郡医師会副会長
高 橋 孝

日時：平成16年3月19日(金)午後4時半
場所：岩手県医師会館3階 中会議室

岩手郡医師会における日本医師会生涯教育研修会受講の申告率は、非常に低い率で経緯しています。生涯教育制度は昭和62年から発足し、日本医師会の事業の大きな柱であります。当制度については現在、総論は終わり各論に入ってきたように思います。

平成15年度からは、生涯教育制度も一括申告の導入により手続きが簡単になります。

した。私なりに色々情報を分析してみると、医師免許更新時や公的病院に奉職時に生涯教育の認定証が必要になってくるようと思われます。

申告しない先生はいつも同じ方々ですが、その申告しない理由は私には分かりません。制度が簡単になったので、是非全会員の申告を望みます。また、医師会役員は近隣の先生方への申告の助言をお願いします。



岩手郡医師会役員選出委員会報告

岩手郡医師会役員選出委員会 委員長
高 橋 孝

平成15年11月10日、午後6時より岩手県医師会館3階会議室において、理事会を開催し、岩手郡医師会役員選出に関する議案を協議した。

役員選出方法については、高橋・西島両副会長に一任することが了承されたので、定款13条による推薦・立候補制を採用することを提案し了承された。

次に、役員選出委員会委員選任に関しては、岩手郡医師会の地域特性なども勘案して、委員を委嘱することが了承された。その結果、高橋孝、西島康之、嶋 信、篠村達雅、柄内秀彦、及川忠人、高橋克郎、土井尻健一、和田進及び成島勝之助の合計10名の会員が選出委員に選任された。

平成15年12月9日、午後6時より岩手県医師会館において、第1回役員選出委員会を開催し、役員選挙の告示日は平成16年1月5日とし、申請書類などの請求期日は平成16年1月13日、申請書類などの提出期限を1月24日とすることが了承された。

平成16年1月15日、午後6時30分よりホテルメトロポリタンニューウィングにて、第2回役員選出委員会を開催し、選挙に関する郵便物の遅配などを考慮し、申請書類等の請求期日を2日間猶予し、平成16年1月17日とすることが了承された。

平成16年1月27日、第3回の役員選出委員会を開催し、申請書類などについて審査した。その結果、理事立候補提出会員は14名、監事立候補提出会員は2名であった。監事立候補提出会員は資格要件なども適正であった。

理事立候補提出会員の1名は、医師会入会後2年間経過するにとどまるため、岩手郡医師会内規「役員は岩手郡医師会に入会して5年間医師会活動を行った会員」とする理事立候補資格用件などについて慎重に審議した。その結果当該理事立候補会員に関しては立候補資格を有せずとした。なお、当該立候補者には、医師会内規に基づく役員立候補資格用件を満たさないことを連絡・説明し了解を得た。

以上慎重な審議の結果、以下の会員を、定款に基づく推薦立候補者として選出した。

理事候補選出会員：飯島仁・及川忠人・岡田行生・上原充郎・久保谷康夫・紺野敏昭・佐々木久夫・篠村達雅・高橋孝・柄内秀彦・成島勝之助・西島康之・三善悟

監事候補選出会員：嶋 信・土井尻健一

最後に、役員選出委員は全委員無欠席で、滞りなく肅々と役員選出に関する職責を果たしたことを報告し、当該役員選出委員に感謝申し上げる。

お 知 ら せ

第38回 岩手県医師会親睦ゴルフ大会のご案内

恒例の標記大会を、岩手郡・二戸・久慈医師会の担当で下記の要項により開催致します。

日 時：平成16年9月26日(日)

受 付 午前7:30開始。スタートはショットガン方式ですので、全員、必ず、午前8:30までに受付を終了してください。

スタート 午前9:10。北コースの18ホール全てのティグランドから一斉にスタートします。

場 所：岩手沼宮内カントリークラブ

住 所：〒028-4421 岩手郡岩手町一方井第17地割24-1

電 話：0195-62-5511

●今回のゴルフ大会の特徴●

- スタートは、通称ショットガン方式を採用しました。1番ホールから18番ホールまで、全てのホールのティグランドから、花火の合図で同時に一斉にスタートします。
- スルーウェイで、18ホールを連続でプレーします。
- 昼食は、パン＆飲み物等をゴルフカートにご用意します。
- プレー終了時刻は、参加者がほとんど同時を予定しています。
- プレー終了後に親睦を兼ねた豪華なお食事をご用意します。
- 各都市医師会の上位4名の合計打数による対抗戦を予定しています。
- その他詳細は例年とほとんど同じ要項での実施を予定しています。

大 会 役 員

大 会 会 長	岩手県医師会長	石川 育成
大 会 副 会 長	岩手郡医師会長	及川 忠人
大 会 副 会 長	二戸医師会長	小野寺正信
大 会 副 会 長	久慈医師会長	小林 貞夫
大 会 運 営 委 員 長	岩手郡医師会理事	久保谷康夫
大 会 実 行 委 員 長	岩手郡医師会理事	岡田 行生
大 会 競 技 委 員 長	岩手郡医師会	坂井 博毅

大 会 運 営 委 員

受 付 係	西島 康之、八角 正司、坂井 博毅 瓜田 明義、塚谷 栄紀、木村 秀幸 佐藤 尚孝、千葉 俊明
ス タ ー ト 係	岡田 行生、嶋 信、遠藤 憲幸 土谷 正彦
ス コ ア 係	成島勝之助、嶋 信、吉田 雅美
懇 親 会 係	久保谷康夫、柄内 秀彦、成島勝之助 岡田 行生、土谷 正彦
記 錄 係	柄内 秀彦、嶋 信

表 彰 式 並びに懇親会

司 会	岩手郡医師会理事	久保谷康夫
1.開 会 の 辞	岩手郡医師会副会長	西島 康之
2.大会会長挨拶	岩手郡医師会長	石川 育成
3.歓迎の辞	岩手郡医師会長	及川 忠人
4.乾 杯	久慈医師会長	小林 貞夫
5.成績発表	岩手郡医師会理事	柄内 秀彦
6.表彰彰	大 会 会 長	石川 育成
7.次期開催医師会挨拶	宮古医師会会長	木澤 健一
	釜石医師会会長	小泉 嘉明
8.閉 会 の 辞	岩手郡医師会理事	岡田 行生



第55回岩手県医師会親睦野球大会に参加して

—三陸野球遠征記—

岩手郡医師会野球チーム ヘッドコーチ：三 善 悟
現主将：嶋 信
現監督：久保谷 康 夫

例年8月最後の日曜日に開催されている県医師会野球大会は、昨年は気仙医師会の担当で大船渡市において「開催」された。「開催」をかっこ書きにしたのには訳がある。またそのためにこの原稿も流れて、本日に至ってしまった。

過去に多くの歴史と実績を有したわれらが岩手郡医師会野球チームであるが、メンバーの少子高齢化に伴いこの数年は不遇を経ってきた。三陸大会は雨の恵みを得て優勝の千載一遇のチャンスがめぐってきたのであった。しかし結論は、「練習不足」を反省するばかりである。

一年遅れの原稿も如何なものかと思案したが、早いものでこの広報が発行されるころには、水沢で開催される県医師会野球大会がまじかであろう。今年の岩手郡医師会は、広報活動を最重点におくそうだ。その意味でもこの野球遠征記が会員の目に留まれば幸いであると考え、また多くの会員の野球大会参加をお願いして寄稿することとした。

多くの医師会は県立病院の若手医師を中心に戦力編成を行っている。岩手郡では野球をする若手は他の医師会に比較すると少ない。若いことは何かにつけて優位だ。特に速力が良い。愚痴になるが、フォアボールで出塁すると、多くは三塁までフ

リーパスである。こちらもキャッチャーがそれなりにスピードのあるボールを送球できれば、みすみす二塁あるいは三塁まで進塁させるようなことはしないのだが、すでに四十肩、五十肩も過ぎて、還暦を迎えた六十肩の会員が事に当たっているのだから多くを期待されても酷というものだ。というような次第でなかなか岩手郡に優勝旗を持つてこれないのは会員構成から仕方の無い面も多いのだが、チームの執行部としても、前述のような言い訳を言っておきたくて共同で筆を取った。

そのような、悪環境にあっても昨年は、優勝千載一遇のチャンスが訪れたのである。なにせ、3年前に岩手郡に実際の試合でコ一



西島先生 惜敗



三善先生 ジャンケンポン！

ルドゲームを喫した遠野チームが優勝したのであるから、なおさらそのチャンスも理解できようというものである。

さて、大船渡、釜石への高速道路の一部開通などによって、だいぶ交通事情が改善したそうだ。それでも東北道などの本線に比べるとまだまだ沿岸地域の方々は大変なようだ。釜石道も地元の人はわざわざ料金を支払ってまで利用しないそうだ。

大船渡では、及川新会長の兄上様が経営されているホテルに宿泊した。及川先生のご関係だろうが、見事なほどの海の幸・山の幸に舌づみを打った。感謝に尽くせない。

新旧のキャプテンは明日の作戦に備えて早めに床に就かれたらしいが、監督以下數名は敵情視察を兼ねてほとんど人通りのない、夜の街に出た。すると何箇所かの医師会チームがおなじ「グランド」で練習をしていたが、高橋（牧）前会長が気仙の桜井会長を伴われて「練習」と一緒に「視察」

にこられた。そのころからグランドの外は激しい雨足になって、明日の試合開催が心配されたが、多くの会員は明日の天候には余り興味を示さず、隣の応援団の人との「サイン」の確認に余念がなかったようだ。

毎度のことだが、前日というか前の晩の練習が厳しくて、本番に結果が出せないとクレームがでる。昨年もそのためかグランドから宿舎にどのようにたどり着いたか憶えていない会員も一部いた。

試合当日は夜明け前から雨足がさらに激しくなって、宿泊しているホテルに朝早くに、試合中止を知らせる連絡が届いていた。しかし、会員はすでにユニホームに着替えていたので、ユニホーム姿で全員で食事をしバスに乗り込んだ。ジャンケン大会に気合を入れて臨む為にユニホーム姿のままで出かけた。

ホテルを出てまもなくして、マイクロバスのステアリングが故障したが、運よく途中に修理工場があったので、その工場で応急処置をしてそのまま車に乗っていくことにした。

しかし、修理は短時間では済みそうに無く、修理工場から小雨に煙る三陸の海をみんなで眺めしんみりし、一瞬だが無我の境地であった。そのうち、雨降る自動車修理工場にみんなが野球のユニホーム姿でいるのも異様な光景なので、普段着に着替えた。

試合前の各種セレモニーは雨が降ったので、体育館の中に場所を移して行われた。「本日の野球大会は55回大会です。この三陸の海の向こうのニューヨークはヤンキースの松井選手が活躍しています。松井選手の背番号は55番です。松井選手の背番号

を見たときに、雨で中止になった気仙の県野球大会を思い出して下さい」と、前夜、ご多忙の中を岩手郡の「練習」と「猛特訓」に感激されまた激励をいただいた桜井会長先生のご挨拶があった。

その後、試合会場をホテルに移動して行われた。試合形式はいたってシンプルで、野球と同じに9名の選手が壇上に上がり、一人ひとり「ジャンケンポン」とやるのである。マージャンのときなども気合で積もるということがあるが、気合でジャンケンに勝つのだそうだ。それと、何をはじめに出すと勝率が良いか確立の方程式のようなものがあるのだそうだ。聞くところでは、多くの医師会が試合前に打ち合わせと戦略を練ってきたらしい。執行部としても反省させられることが多い試合だった。

チームによってはその辺の具合を知っていて、適切な打順を組んでいたようだ。それに引き換え岩手郡は年齢順の打順を組んだ。いうなれば温情打順だ。9名のうち早く5回勝ったほうが勝ちなので、打席に入

らないうちにゲームセットになった選手もいた。

ところで、優勝した遠野チームは、高齢化はわかっていたが人数も少ないことは承知していた。小児や医師会員の親戚らしき人も打席に入っていた。それがまたジャンケンに勝つし強かった。もし、岩手郡との対戦であれば厳重に抗議しようとも思ったが、すでにわがチームは負けて壇上下の特等席で観戦できたので、試合が盛り上がったほうが楽しいので余計な事は言わなかつた。たかがジャンケン、されどジャンケン。やはり負けると悔しいものである。この医師会報は是非、遠野市医師会にもお送りいただきたい。そして、今度は、是非二チームで直接対決をしたいものだと。

そろそろ医師会の野球大会である。そのときの打順とジャンケン対戦の時に何を出すかを考えておかなければならない。これも、医療におけるリスク管理なのだろうか。たかが野球、されど野球である。悲喜こもごもの野球「大会」でした。



奥州伊達軍五葉山火縄銃鉄砲隊と岩手郡医師会野球チーム



会報編集委員会にて

編 集 後 記

4月より及川忠人新会長のもと、会報編集委員長を務めさせていただくことになった玉山村で整形外科医院を開業している成島勝之助といいます。

広報担当の柄内秀彦、紺野敏昭両理事および、山口淑子、植田修、秋濱朋子の編集委員の方々、さらにアドバイザーとして経験豊富な久保谷康夫理事にも協力をお願いし、岩手郡医師会としての様々な活動を会員の皆様にわかり易くお知らせできるように努力する所存です。

なにぶん不慣れなもので、至らぬ点が多々出てくると予想されます。会員の皆様の忌憚のないご意見、ご批判をお待ちしております。

また会報委員会のメーリングリストに高橋牧之介前会長にも参加していただき、貴重なご意見をお聞きしています。

厳しい暑さが続く毎日ですが、皆様のご健勝を願い、編集後記に代えさせていただきます。

岩手郡医報：No.79／2004年8月発行
発 行：社団法人 岩手郡医師会
発行責任者：岩手郡医師会会长 及川忠人
事 務 局：〒028-7303 岩手郡松尾村柏台二丁目
8番2号東八幡平病院内
電話 0195-78-2607
FAX 0195-78-2555
印 刷：(株)吉田印刷